

『フェーズフリー防災』とは？

フェーズフリー防災とは、「いつも」と「もしも」を分けない防災。

日常で使っているモノや行動が、そのまま災害時にも役立つ――

そんな新しい防災の考え方です。

従来のように「災害時だけの特別な備え」を持たなくても、普段の暮らしの中で自然と防災力を高めることができます。

注目されている理由

フェーズフリーには多くのメリットがあります。

- しまい込んで使わずに終わる“防災用品”を減らせるので、経済的で特別なスペースも不要
- 日常で使っている物がそのまま災害時にも役立つので、災害時の対応力が向上
「備えるのは大事。でも災害のためだけに備えるのは続かない」
――そんな現実的な課題を解決できるのがフェーズフリー防災です。



防災倉庫内の確認

ここでは
取り入れやすいものを
抜粋して紹介します



すぐにできる“フェーズフリーの実践例”

1 趣味や職場で使う「いつも」のものを非常時にも

- キャンプ用品（テント・ランタン・寝袋・カセットコンロなど）を避難生活に活用
- 自転車用ヘルメットを避難時にも使う
- 散歩のついでに「災害時の危険箇所や防災施設を確認」する習慣をつける

2 日常のストックが“そのまま備蓄”に

- 水や食品の箱買いや、トイレトーパーを常に1ダース以上ストック
- 減ったら補充する「ローリングストック」
(災害時、食料・水・衛生用品はすぐ店頭から消える)

3 本来の機能が“もしも”にも役立つ

- EV・ハイブリッド車を電源として活用
- 充電済みのモバイルバッテリーを常に携帯（停電時の情報確保につながる）



静岡県立大学薬学部の皆さんと意見交換

静岡県立大学薬学部の学生の皆さんと、**県の医療政策や災害時の医療体制、薬剤師の果たす役割などについて意見交換**を行いました。

■ 若い世代との対話を、これからも大切に

今回の意見交換でいただいた提案は、今後の政策検討にも活かしてまいります。
学生の皆さんの真剣な姿勢と熱意に改めて敬意を表するとともに、地域医療の未来を支える若い力に大きな期待を寄せています。



御殿川で河川整備が進んでいます

近年の豪雨に備えるため、御殿川（三島市）では次の出水期（梅雨・台風シーズン）までに水の流れを良くするための工事が進められています。

御殿川では、県が2つの工事を発注し、

「掘削（川底の土砂を取り除く）」「除草作業」

を進めることで、大雨時の水位上昇を抑え、浸水リスクを下げる対策を行っています。

■ なぜ河川整備が必要なのか

大雨の際、川の流れが悪いと水位が急上昇し、周辺地域の浸水リスクが高まります。

御殿川は住宅地を流れるため、除草・掘削を定期的に行うことが住民の安心につながります。

今後も継続的に状況を確認し、安全につながる河川整備を着実に進めてまいります。



2月定例会 一般質問に登壇します

本会議の様子は

インターネット中継でもご覧いただけます。



令和8年3月3日(火)
10:30～

ぜひ県議会へ

“生の議論”を見に来てください

議会での議論は、ニュースや文字では伝わりきらない緊張感や熱量があります。

県政がどのように動き、どんな課題が取り上げられているのかぜひ議場で直接感じていただければと思います。



いたみ雅治の

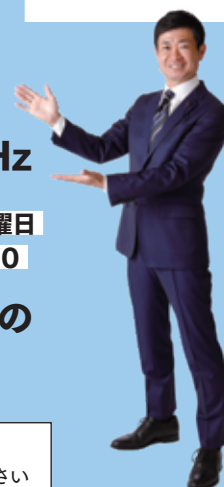
ラジオ番組

ボイス・キュー
FM77.7MHz

毎月第2・第4火曜日
12:45～13:00

「県とあなたの
懸け橋」

ご意見など
お気軽にお寄せください



YouTube
公式チャンネルでも
県政の情報を
発信しています！

静岡県議会議員
いたみ まさはる
伊丹雅治

法政大学大学院(政策学)修了
三島市議会議員(一期)
静岡県議会議員(二期目)

昭和51年6月4日生まれ
家族構成：妻・長女・長男

いたみ雅治事務所

〒411-0035 三島市大宮町3-14-15
Tel & Fax 055-975-7896 <https://m-itami.com/>

